

平成23年4月3日臨時理事会資料（理事長案）

3月22日基金委員会を開催全額地震津波復興に当てることを全会一致で決議した。これについては総会の議決無しで理事会専権事項としたく県教委に。

MORC 震災津波復興委員会（復興委員会）

委員長 武藤 副委員 餅 委員 赤石 多田

基金の使い方他今後一年間にわたり全ての基本的な事項について決定し理事会に報告する。重要な案件については事前に理事長、副理事長に報告相談する。

下部組織として

小浜港新生実行委員会（実行委員会）

委員長 森田 実行総責任者 我妻 委員 遠藤（博）
館石 佐藤（敬）

今後1年間の基本方針（メモ）

- 1 小浜港内の作業については実行総責任者の我妻氏の指示が最優先。
- 2 漁民の皆様の復興を優先してゆく。後日県魚協七ヶ浜支所長と。
- 3 小浜港管理者の県に港内整備を働きかけるが優先度は低いのでは
- 4 県知事に今後2、3、年小浜使用量の減免申請を早期に提出。
- 5 ヨットハーバー再建の今のところ優先度は低いが県議、千葉県農林漁業部長への働きかけ。
- 5 その他

基金の使い方等についての理事長基本的は考え

- 1 港内等で現在浮いている艇の移動等については原則受益者負担
- 2 沈したり不明の艇にお見舞金として
- 3 事務局の簡易整備
- 4 個々でない港内整備にかかる費用に
- 5 県魚協七ヶ浜支所へのお見舞い（寄付）